

第6次長岡京市障がい者(児)福祉基本計画 主な実績(令和5年1月時点)

資料①

※令和5年1月時点で進捗のある主な事業のみを抜粋しています。

基本目標	施策項目	事業区分	回答部署	事業名	事業概要	令和4年度の実績(R5.1月時点) (実施内容、成果など)
1 ふれあい・わかりあい・支えあうことができる	(1)ふれあい・わかりあいのまちづくり	その他	障がい福祉課	「障がい者児の人権を考える市民のひろば」開催事業	市民が人権を考える機会として、障害者週間に併せて子どもから高齢者まで誰もが気軽に参加できるよう配慮しつつ、障がいに関する企画や、映画、講演会、障がい当事者による発表などを行います。	令和4年12月3日(土)に中央公民館にて「障がい者児の人権を考える市民のひろば」を開催しました。令和2,3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模の縮小や入場人数を制限していましたが、令和4年度は展示コーナーの拡大や体験コーナーの再開など、一部規模を拡大しました。 手話歌や合唱の舞台発表や、障がい福祉事業所利用者作品展示、スポーツ車いすやボッチャの展示など、障がい理解を促進するための取組みを充実させました。 参加者数:370人
1 ふれあい・わかりあい・支えあうことができる	(2)支えあいのまちづくり	代表事業	障がい福祉課	あいサポート運動事業	誰もが暮らしやすい社会の実現をめざすため、多様な障がい特性を学び、障がいのある人が困っているときにちょっとした手助けを実践する「あいサポーター」の養成に取り組むとともに、あいサポート運動についてより多くの市民へ周知を進めていきます。	令和5年1月時点で、団体、市民を対象にあいサポーター研修を計5回実施し、46人のあいサポーターを養成しました。なお、1月から2月にかけて市職員対象としたあいサポーター研修を動画視聴のかたちで実施しています。今回は自立支援協議会主催の「重度障がいのある人の理解啓発に関する研修」の動画を視聴します。
3 こども一人ひとりに合った支援・教育等が受けられる	(6)早期療育・発達支援及び相談体制の充実	その他	障がい福祉課 福祉政策室	児童発達支援センター等整備事業	長岡京市共生型福祉施設構想・基本計画に基づき、乙訓地域で生活している障がい児やその家族に対する支援機能や障がいのある児童を預かる施設への援助・助言を行う地域支援機能を有し、地域の障がい児支援の中核となる児童発達支援センター等の整備を行います。	・児童発達支援センターと地域生活支援拠点を「長岡京市共生型福祉施設構想基本計画」の基本施設として位置づけています。 令和4年度においては、書類審査、プレゼンテーションを経て、8月に事業予定者が選定されました。選定事業者は、代表法人:社会福祉法人向陵会、構成員:特定非営利活動法人朔日の会に決定しました。
4 住み慣れた地域で継続して生活できる	(12)地域生活を支える社会資源の整備と活用	代表事業	障がい福祉課 福祉政策室	地域生活支援拠点整備事業	長岡京市共生型福祉施設構想・基本計画に基づき、乙訓圏域での地域生活支援拠点(「相談」「体験の機会・場」「緊急時の受け入れ・対応」「専門性」「地域の体制づくり」の機能を持つ拠点)を整備します。	
4 住み慣れた地域で継続して生活できる	(12)地域生活を支える社会資源の整備と活用	その他	福祉政策室	共生型福祉施設整備事業	長岡京市共生型福祉施設構想・基本計画に基づき、地域共生社会の実現に向け、障がいのある人の地域生活や、子どもの発達等を支え、あらゆる世代が交流できる共生型福祉施設を整備します。	

基本目標	施策項目	事業区分	回答部署	事業名	事業概要	令和4年度の実績(R5.1月時点) (実施内容、成果など)
5 自分らしく働くことができる	(14)福祉的就労の充実	その他	障がい福祉課	福祉的就労通所交通費助成事業	個人の適性と能力に合った働き方が選べるよう、福祉的就労事業所への通所を要する利用者に対し、交通費負担の軽減策などを実施します。	令和3年度から福祉的就労通所交通費助成事業を開始しています。上半期(4～6月)分の申請は26人でした。前年度利用分まで遡って申請できるよう要綱の改正を行い、福祉サービス更新案内時に事業チラシを同封したり、令和3年度に申請されていた令和4年度未申請者に個別通知を行うなど、制度の周知と申請者の増加に努めました。
6 文化芸術・スポーツ活動を楽しむことができる	(15)文化・芸術スポーツ活動の推進と活性化	その他	障がい福祉課	障がい者スポーツ・レクリエーション事業	市内の障がいのある人が市外の人々と触れあう機会となる、京都府障害者ふれあい広場「スポーツレクリエーションフェスティバル」や乙訓障がい者スポーツ・レクリエーション広場等に幅広い世代が参加しやすいよう取り組みます。	「京都府障害者ふれあい広場」、「スポーツフェスティバル」を3年ぶりに開催しました。「乙訓障がい者スポーツ・レクリエーション広場」は、12月は中止となったものの、6、8月は開催となりました。3月5日にも開催を予定しています。
7 安全で便利な環境がある	(16)ユニバーサルデザインの推進	その他	公園緑地課	公園緑地整備事業	「長岡京市都市公園条例」の基準に基づき、ユニバーサルデザインに配慮した公園のバリアフリー化を進めます。	障がいの有無に関係なく、誰もが利用できる「インクルーシブ公園」の整備に向けた検討を行っています。多様な市民の意見を取り入れた公園の整備を目指すため、令和4年度は、6、7月に市民ワークショップを開催し、公園に関する様々なご意見やアイデアを出していただきました。